

| 科目名            |  | サブタイトル  | 担当教員                           | 配置学年  | 単位数 |
|----------------|--|---|--------------------------------|-------|-----|
| 世界の鉄道研究        |  | 世界の鉄道はどのように発達し今日に至ったのか  | 櫻井 寛                           | 2年次後期 | 2   |
| 科目区分           | 専門   | キーワード   | 鉄道の発明者、鉄道発祥の地、世界最高速、各国ゲージ、登山鉄道 |       |     |
| ディプロマポリシーとの対応  |  | 2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力   |                                |       |     |
| カリキュラムポリシーとの対応 |  | 1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける<br>2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける |                                |       |     |
| 事前に受講するとよい科目   |  |   |                                |       |     |
| 講義の目的          | 鉄道は約190年前にイギリスで発明され、現在では世界140か国に鉄道が運行されている。各国の気象、風土、習慣、文化、経済、宗教、国民性の違いなどによって多種多様な鉄道が存在するわけだが、各国の鉄道事情を学ぶことは、国際的な一般教養を高めることにも大いに役立つ。                       |   |                                |       |     |
| 到達目標           | 鉄道の発明、発達に寄与した国と人物を理解する。ゲージ(軌間)の差による各国の鉄道の歴史を理解する。高速鉄道を保有する現代の鉄道先進国を理解する。   |   |                                |       |     |
| 講義内容           | 講師がこれまで世界95ヶ国の鉄道取材してきた画像を使用し、イギリスにおける鉄道の発明と発達史。日本に鉄道という文明をもたらした欧米諸国。一方、日本の鉄道技術が輸出されたアジア諸国、近年では欧米諸国への車両輸出など、我が国と密接な関係にある国々の、鉄道の歴史、現状、文化、技術、システムなどを学び検証する。 |   |                                |       |     |
| 講義スケジュール       |  | タイトル  | 内容                             |       |     |
|                | 第1講  | オリエンテーション   | 自己紹介&好きな鉄道、興味のある国ベスト3          |       |     |
|                | 第2講  | イギリス  | 鉄道発祥の国 ロケット号からHITACHIトレイン      |       |     |
|                | 第3講  | アメリカ・カナダ  | 世界最大の鉄道路線網 大陸横断鉄道              |       |     |
|                | 第4講  | ドイツ・オーストリア  | 電化、ディーゼル化の先進国                  |       |     |
|                | 第5講  | フランス  | 世界最高速を目指すTGV                   |       |     |
|                | 第6講  | イタリア  | デザインで世界の鉄道をリード                 |       |     |
|                | 第7講  | スイス   | 登山鉄道王国 世界最急勾配鉄道                |       |     |
|                | 第8講  | 中国・香港   | 疑問点の残る鉄道技術・香港の都市交通             |       |     |
|                | 第9講  | 韓国  | フランス製高速列車KTX                   |       |     |
|                | 第10講   | 台湾  | 日本製高速列車700T型                   |       |     |
|                | 第11講   | ロシア・スペイン  | 世界最長のシベリア鉄道 広軌の理由              |       |     |
|                | 第12講   | オーストラリア   | 狭軌、標準軌、広軌、州で異なるゲージ             |       |     |
|                | 第13講   | 南ア・ニュージーランド   | 日本と同じ1067mmゲージ                 |       |     |
|                | 第14講   | インド・東南アジア   | 広軌のインドと1mゲージの東南アジア             |       |     |
| 第15講           | まとめ  | 世界の高速鉄道   |                                |       |     |
| 指導方法           | 講師撮影の鉄道画像とテキストを用い講義形式で展開する。学生諸君による各自の「世界の鉄道研究」の成果を発表し討論する。   |   |                                |       |     |
| 事前学習           | 興味のある国ベスト3を事前に予習し、授業で研究成果を発表する。  |   |                                |       |     |
| 事後学習           | 興味のある国ベスト3の研究成果を300~400字でレポート提出。   |   |                                |       |     |
| 成績評価方法         | 本試験(筆記試験、持込可)50%、平常点(課題レポート)50%で成績評価する。  |   |                                |       |     |
| テキスト           | 櫻井 寛[2017]『世界鉄道切手夢紀行』(日本郵趣出版)  |   |                                |       |     |
| 参考書籍           | 櫻井 寛[2021]『オリエン特急行』(世界文化社)   |   |                                |       |     |
| 特記事項           | 日本地図はもちろん、世界地図も読みこなせるように!  |   |                                |       |     |